

### 企画 振興課 友好と交流の絆を深める 友好訪問団が綿陽市を訪問



左から堀井市議会議長、木山市長、劉(りゅう)綿陽市長、馬(ま)綿陽人民代表大会常務委员会主任

10月23日から25日までの3日間、木山耕三市長を団長とする友好訪問団5人が、中華人民共和国四川省綿陽市を訪れました。庄原市と綿陽市は平成2年に「経済技術友好協力協定」締結してから25年以上、友好交流を継続しています。これまで、公式訪問に加え、両市の小中学生や議会関係者などの相互訪問などによって友好関係を深めてきました。

今回は平成25年以来4年ぶりの公式訪問となり、今後の交流のあり方や、平成32年度に協定締結から30周年を迎えるため、記念行事のあり方の検討を始めることなどを確認しました。

綿陽市に到着した訪問団は、行政府にあたる綿陽市人民政府と、



綿陽庄原友好小学校児童による熱烈的な歓迎の様子

議会にあたる人民代表大会を表敬訪問し、劉超綿陽市長ら関係者から熱烈的な歓迎を受けました。劉綿陽市長の歓迎のあいさつに対し、木山市長は、「これまでに培ってきた両市の信頼関係は何物にも代えがたい貴重な財産であり、今後さまざまな分野での友好関係の発展と新たな歴史づくりに取り組んでいきたい」とあいさつし、和やかな雰囲気の中、懇談が行われました。

また、庄原市と綿陽市の友好のシンボルである綿陽庄原友好小学校や科技城創新センターを訪問。綿陽庄原友好小学校では同校の児童による歓迎の踊りを観賞し、授業風景の見学や児童たちと交遊を行うなど、親交を深めました。

### 農業 振興課 庄原市内農家の和牛が躍進！ 第93回広島県畜産共進会



審査風景

10月31日、広島県三次家畜市場で第93回広島県畜産共進会「種畜の部」が開催され、庄原市内からは17頭(肉用種8頭・乳用種9頭)が出品されました。

肉用種牛の部では、おきのとくりさん(東城町)が出品した「ゆりこ410」が首席を、乳用種牛の部では庄原実業高等学校(西本町)が出品した「シヨウジツ オレオ レガリア アイ」が総合首席を獲得するなど、庄原の和牛は優秀な成績を収めました。

本年9月には、宮城県で第11回全国和牛能力共進会が開催され、広島・庄原の和牛を全国にアピールすることができました。

今後も中国地方有数の畜産地帯



総合首席を獲得した庄原実業高等学校の出品牛



首席を獲得した沖野徳則さんの出品牛

としての地位を確固たるものとするため、関係者一丸となって家畜の改良を進めていきます。

### 工商 観光課 高校生が田舎暮らしを体験！ 東京都立新宿高等学校の修学旅行(民泊)を受け入れ

10月25日から26日にかけて、東京都の都立新宿高等学校の2年生318人が、修学旅行で庄原市に滞在しました。

到着した生徒たちは、市内の6会場で入村式を行い、それぞれの民泊家庭と対面しました。その後、95軒の家庭に分かれて民泊体験を行いました。

生徒たちは民泊家庭で芋掘りや柿の収穫などの農作業や手芸品の作成、まき割りや餅つきといった田舎ならではの暮らしを体験しました。都会で暮らす生徒たちには全てが新鮮だった様子で、生徒たちは初めて体験する庄原市の自然豊かな生活を楽しんでいました。

夕食は生徒たちと民泊家庭が一緒に調理し、収穫した野菜や地元食材を使った料理をみんなで作りました。民泊家庭と一緒に食卓を囲んで楽しく会話しながら食事し、温かい交流の時間を過ごしました。

生徒たちを受け入れた民泊家庭からは「都会から来る生徒に田舎での生活が合うのか不安だったが、受け入れてみるとすごく素直で良い子たちで、みんなとても喜んでくれていた」とも礼儀正しくしつかりした子たちだった。家の仕事も積極的にやってくれて助かるし、毎年来てくれて良いくらい」「田んぼや星空など我々には当たり前前

の光景が生徒たちには新鮮だったようでとても感動していた」といった感想がありました。

生徒たちにとって良い経験になっただけでなく、民泊家庭にとっても交流が元気づけにつながっています。

**民泊家庭を募集中です**

市では民泊体験を受け入れていただける家庭を募集しています。皆さんも子どもたちと一緒に心温まる交流をしてみませんか？

【民泊登録の申し込み・問い合わせ】庄原市さとやま体験交流協議会事務局(庄原市観光協会) 0824-75-0173



①入村式で民泊家庭と生徒たちが対面 ②動物との触れ合いも初めての経験 ③まき割りに初挑戦 ④民泊家庭で勾玉作り体験 ⑤採れたての野菜を手に ⑥民泊家庭と一緒に楽しく食卓を囲む ⑦民泊を終えて出発する生徒を見送る民泊家庭



商工  
観光課

### 冬の贈り物に ～庄原を贈ろう～「庄原冬ギフト」パンフレットを発行



庄原観光いちばん協議会は、庄原産品の認知度の向上やブランド発信力の効果を高め、消費を喚起・拡大させることにより、地域経済の活性化や市民所得の向上を図ることを目的に、逸品づくり事業で開発した特産品をはじめとした庄原産品のギフトパンフレットを発行しました。

「庄原冬ギフト」パンフレットには庄原の特産品が36品掲載されており、各50セット限定で庄原市道の駅等連絡協議会が販売を行います。

パンフレットは市内物販拠点施設や観光施設などで配布しています。大切な人への贈り物やお歳暮ギフトにぜひお使いください。

**問い合わせ**  
庄原観光いちばん協議会  
(事務局) 商工観光課にぎわい観光係  
☎0824・73・1179

教育  
指導課

### 学校・家庭・地域が一緒になって考える 庄原市教育フォーラム



10月22日、「家庭教育」をテーマに庄原市民会館で教育フォーラムを開催し、約600人が参加しました。

まず、総領小学校全校児童が、これまで学んだことを基に、総領の宝である節分草のことや総領の人々の節分草への思い、節分草を守るために自分たちがすべきことなどを劇や歌で発表しました。

続いて、市内各中学校の生徒7人が、「家庭・家族」をテーマに日頃思っていることや気付いたこと、改めて考えたこと、普段はなかなか言葉にできない素直な思いや感謝の気持ちなどの意見発表をしました。



中学生による意見発表

堂々と自分の思いを表現する中学生の姿に、会場から大きな拍手が送られました。

最後に、漫才コンビB&Bで有名な島田洋七さんが「生きる力を育む」がばいばあちゃんからの教え」と題して講演しました。明るく前向き、失敗をチャンスに変え、夢に向かって生きていくことの大切さなど、ユーモアたっぷりの話に、会場は笑いに包まれました。

参加者からは「家庭教育について考えるとても良い機会になった」「児童生徒の前向きな発表に強く心を打たれた」などの声が聞かれました。



総領小学校「守ろう！伝えよう！総領の宝『節分草』」



商工  
観光課

### 国営備北丘陵公園北エリア収益施設の出店候補者を選定！ 備北丘陵公園北エリア運営協議会



ビースウィング・ジャパンが出店するエントランスセンター国兼



【参考】ビースウィング・ジャパンが神石高原町で運営している「マルクトプラッツ」

備北丘陵公園北エリア運営協議会は、11月13日に開催された審査会で、国営備北丘陵公園北エリア収益施設3店舗の出店候補者として、神石高原町の特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパンを選定しました。

審査会では、庄原市および周辺地域の特産品や本物志向のガーデン用品、市内で収穫された野菜の販売、地元食材をふんだんに使用したピザやパスタの提供、犬を連れていつでも気軽に入れるカフェなどを申請者が提案しました。

審査会で慎重に審査した結果、事業計画に事業者の特色が打ち出されていることや地元の食材の活用など地域経済の活性化が期待できることから、出店候補者として

選定しました。

出店候補者に選定された特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパンの國田博史事業部長は「私たちがこれまで培ってきた強みを生かして、地域にこだわり、地域に根ざしたサービスを提供し、丘陵公園の北エリアを多くの皆さんに楽しんでもらえる場所にしていきたい」と意欲を示しました。

備北丘陵公園北エリア運営協議会の藤谷則夫会長は「社会実験の趣旨に理解のある事業者が出店者となり、大いに期待している。協議会と出店者が一体となって準備を進めていきたい」と話していました。

今後は、来年3月下旬の社会実験のスタートに向けて準備を進めていきます。

商工  
観光課

### 庄原市内の道の駅などの連携イベントを開催 庄原里山マルシェ



11月9日、庄原市道の駅等連絡協議会は、道の駅たかの会場に「庄原里山マルシェ」を開催しました。

このイベントは、庄原市内にある6つの交流拠点施設（道の駅たかの、道の駅遊YOUさろん東城、東城きんさい市、食彩館しよらばらゆめさくら、口和モーモイ物産館、道の駅リストア・ステーション）がそれぞれの施設のオリジナルメニューを準備し、地元ならではの美味しい味を提供すること、グルメのまち庄原をPRすることを目的とし開催され、市内外から約千人が来場しました。

当日は高野りんごのアップルパイや総領こんにゃく、ひと口カレーパン、ワニの炊き込みごはん、



多くの来場者で賑わった「庄原里山マルシェ」

東城銘菓、東城産の焼き芋など、各施設のオリジナルグルメや銘菓が並びました。

道の駅たかの根波裕治支配人は「いろいろな施設が一堂に介し、趣向をこらしたメニューでグルメなまち庄原をPRできた。市内の施設が集まることで、お互いの刺激にもなり、新しい取り組みも生まれてくると思うので、今後もこうした連携イベントを企画し、多くの方に庄原市を訪れてもらえるよう取り組んでいきたい」と話していました。

庄原市道の駅等連絡協議会では、今後もこうした連携イベントを通じて「グルメのまち庄原」や各店舗の魅力をPRしていくこととしていきます。